L-428□ル

300200

L428□胞株は、結節性硬化型ホジキン病と診断された女性患者の胸水から得られた、確立された腫瘍性 □胞株である。この□胞株の樹立は、ホジキンリンパ腫の根底にある □胞特性や分子メカニズムを研究するための貴重なモデルとなった。 L428□胞は、ホジキンリンパ腫の特徴的な □胞であるリード-スタンバーグ（RS）□胞およびホジキン（H）□胞に酷似している。これらの□胞は、典型的なB□胞、T□胞、および他の造血□胞タイプとは異なるユニークな表現型を示し、 RS□胞やH□胞の正確な□胞起源に関する現在進行中の議論の一因となっている。

L428□胞株は、異数性、複数の構造的および数的染色体異常の存在など、いくつかの特徴的な特徴を示し、これらは腫瘍性の典型的なマーカーである。これらの □胞は、リンパ系悪性腫瘍に由来するにもかかわらず、表面または □胞質免疫グロブリン（Igs）を欠いており、これは正常リンパ系 □胞からの有意な分化を示唆している。 EBNAやVCAなどのエプスタイン・バー・ウイルス（EBV）抗原がないことが、L428を他のEBV陽性ホジキンリンパ腫 □胞株とさらに区別している。この □胞はまた、リゾチーム、ペルオキシダーゼ、クロルアセテートエステラーゼ活性を欠き、骨髄 □胞、単球、マクロファージとの区別を強めている。

形態に関しては、L428□胞は小さな単核□胞から大きな多核□胞まで様々な大きさを示し、一部の □胞は膜上に絨毛状の突起を示す。この □胞はまた、大きく、しばしば腎臓の形をした核小体を持つことが特徴である。機能的には、 L428□胞はIa様抗原とT□胞レセプターを発現するが、他の一般的なリンパ球や骨髄球のマーカーを持たない。このユニークな免疫表現型は、染色体や形態学的特徴と相まって、L428をホジキンリンパ腫のモデルとして、特にRS□胞やH□胞の生物学を研究するために分類することを支持するものである。

L428□胞株は、ホジキン病の病態を探り、潜在的な治療標的を研究するために広く用いられてきた。試験管内で増殖するその能力とユニークな性質は、この複雑な血液悪性腫瘍の理解を進める上で重要なリソースとなっている。

概要

□明

L428□胞株は、結節性硬化型ホジキン病と診断された女性患者の胸水から得られた、確立された腫瘍性 □胞株である。この□胞株の樹立は、ホジキンリンパ腫の根底にある □胞特性や分子メカニズムを研究するための貴重なモデルとなった。 L428□胞は、ホジキンリンパ腫の特徴的な □胞であるリード-スタンバーグ（RS）□胞およびホジキン（H）□胞に酷似している。これらの□胞は、典型的なB□胞、T□胞、および他の造血□胞タイプとは異なるユニークな表現型を示し、 RS□胞やH□胞の正確な□胞起源に関する現在進行中の議論の一因となっている。

L428□胞株は、異数性、複数の構造的および数的染色体異常の存在など、いくつかの特徴的な特徴を示し、これらは腫瘍性の典型的なマーカーである。これらの □胞は、リンパ系悪性腫瘍に由来するにもかかわらず、表面または □胞質免疫グロブリン（Igs）を欠いており、これは正常リンパ系 □胞からの有意な分化を示唆している。 EBNAやVCAなどのエプスタイン・バー・ウイルス（EBV）抗原がないことが、L428を他のEBV陽性ホジキンリンパ腫 □胞株とさらに区別している。この □胞はまた、リゾチーム、ペルオキシダーゼ、クロルアセテートエステラーゼ活性を欠き、骨髄 □胞、単球、マクロファージとの区別を強めている。

形態に関しては、L428□胞は小さな単核□胞から大きな多核□胞まで様々な大きさを示し、一部の □胞は膜上に絨毛状の突起を示す。この □胞はまた、大きく、しばしば腎臓の形をした核小体を持つことが特徴である。機能的には、 L428□胞はIa様抗原とT□胞レセプターを発現するが、他の一般的なリンパ球や骨髄球のマーカーを持たない。このユニークな免疫表現型は、染色体や形態学的特徴と相まって、L428をホジキンリンパ腫のモデルとして、特にRS□胞やH□胞の生物学を研究するために分類することを支持するものである。

L428□胞株は、ホジキン病の病態を探り、潜在的な治療標的を研究するために広く用いられてきた。試験管内で増殖するその能力とユニークな性質は、この複雑な血液悪性腫瘍の理解を進める上で重要なリソースとなっている。

ティッシュ	胸水
病気	ホジキンリンパ腫

同義語

- L-428
- L 428

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	丸い□胞

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

細胞の種類	リンパ芽球

識別子

引用

L428（Cytion カタログ番号 300200）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1361

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640，w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃，5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10%FBS，1mMピルビン酸ナトリウム、1%NEAAを添加する。

継代培養

培地を定期的に追加または交換して培養を維持する。培養開始時の □胞密度は5×10⁵□胞/mlとし、最適な増殖のため□胞濃度を3×10⁵～1×10⁶□胞/mlの範囲に保つ。

播種密度	1 × 10⁵ □胞/ml
流体の更新	3日ごと
解凍後の回復	速い

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	37年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB